



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2022年2月14日

上場会社名 マルシェ株式会社
コード番号 7524 URL <https://www.marche.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 洋嗣
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 藤原 徹二

TEL 06-6624-8100

四半期報告書提出予定日 2022年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	1,995	△39.0	△886	—	△103	—	△122	—
2021年3月期第3四半期	3,270	△49.9	△784	—	△674	—	△820	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	△15.30	—
2021年3月期第3四半期	△102.24	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	4,443	850	19.1
2021年3月期	4,563	1,000	21.9

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 850百万円 2021年3月期 1,000百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年3月期	—	0.00	—		
2022年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2022年3月期の業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

新型コロナウイルスの感染拡大による当社業績への影響は甚大であると認識すると共に、現時点において業績予想の合理的な算定をすることは著しく困難と判断し、2022年3月期の業績予想は未定といたします。なお、新型コロナウイルスの感染拡大による影響が収束に向かい、その算定が可能と判断した時点をもって、速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	8,550,400 株	2021年3月期	8,550,400 株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	522,110 株	2021年3月期	522,110 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	8,028,290 株	2021年3月期3Q	8,028,384 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	8
(重要な後発事象)	8
3. 補足情報	8
〔参考〕業態別出退店の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」とする。)等を第1四半期会計期間から適用しております。収益認識会計基準等の適用が財政状態及び経営成績に与える影響の詳細については、「2 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご参照ください。

また、第1四半期会計期間より新型コロナウイルス感染症による損失、新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金及び雇用調整助成金の会計方針の変更を行っており、遡及処理の内容を反映させた数値で前年同四半期累計期間及び前事業年度との比較・分析を行っております。

当第3四半期累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症による経済的影響が、ワクチン接種の普及により緊急事態宣言が解除された10月以降、段階的な経済活動再開による持ち直しの動きが見られ来店客数は緩やかな回復基調となりました。しかし、12月上旬頃から新たな変異株による感染再拡大の懸念が生じ、先行き不透明な状況が続きました。

外食産業におきましては、自治体からの休業、営業時間短縮、及び酒類の提供の中止・制限にかかる要請が10月中に終了しましたが、客足の戻りはまだ緩やかです。また、多くの飲食店が同時期に通常営業を再開したこと等による労働力不足も発生するなど、厳しい事業環境が続いております。

このような状況の中、当社はお客様や従業員の安全を考慮し、出勤時の検温・体調チェック、マスク着用やアルコール消毒液による店内消毒など、店舗の衛生管理を徹底し、感染拡大防止の観点から座席の間隔を空ける等の社会的距離(ソーシャルディスタンス)を確保した上で、お客様の満足度向上に努めるべく、既存ブランドの成長と新業態の強化を実施すると共に、デリバリーサービスの強化とテイクアウトメニュー拡充など業績回復に向け努めてまいりました。

このような取り組みを行ってまいりましたが、当第3四半期累計期間における経営成績は、売上高は1,995,801千円(前年同期比39.0%減)、営業損失は886,325千円(前年同期は営業損失784,959千円)、経常損失は103,282千円(前年同期は経常損失674,033千円)、四半期純損失は122,869千円(前年同期は四半期純損失820,822千円)となりました。

【当第3四半期の業績の概況】

	前第3四半期 自 2020年4月1日 至 2020年12月31日	当第3四半期 自 2021年4月1日 至 2021年12月31日	対前年同期比	
			増減額	増減率(%)
売上高(百万円)	3,270	1,995	△1,274	△39.0
営業損失(△)(百万円)	△784	△886	△101	-
経常損失(△)(百万円)	△674	△103	570	-
四半期純損失(△)(百万円)	△820	△122	697	-
1株当たり四半期純損失(△)	△102円24銭	△15円30銭	86円94銭	-

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

資産、負債、純資産及び自己資本比率の状況は下記の通りとなります。

(単位：百万円)

	2021年3月期末	当第3四半期末	増減
資 産	4,563	4,443	△119
負 債	3,563	3,593	29
純 資 産	1,000	850	△149
自己資本比率 (%)	21.9	19.1	△2.8

当第3四半期累計期間におきましては、現金及び預金231,898千円の増加、売掛金100,321千円の増加、未収入金536,413千円の減少等により、総資産が前事業年度末に比べ119,693千円減少し、4,443,618千円となりました。

負債は、主に買掛金290,576千円の増加、未払金119,847千円の減少等により、前事業年度末に比べ29,878千円増加し、3,593,075千円となりました。

純資産は、主に四半期純損失の計上により149,752千円減少し、850,543千円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染拡大による2021年4月25日の緊急事態宣言発出後、当社は対象地域の直営店舗の営業を休業もしくは営業内容の見直しを実施しており、現時点において通常営業の見込みも立たないため、業績予想の合理的な算定をすることは著しく困難と判断し、2022年3月期の業績予想は未定といたします。なお、新型コロナウイルス感染が収束に向かい、その算定が可能と判断した時点をもって、速やかに公表いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,337,859	2,569,758
売掛金	202,716	303,037
商品及び製品	22,397	27,254
原材料及び貯蔵品	25,426	29,043
未収入金	841,064	304,651
その他	65,621	61,455
貸倒引当金	△3,551	△1,465
流動資産合計	3,491,535	3,293,735
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	412,018	473,500
土地	149,366	149,366
その他（純額）	69,843	66,689
有形固定資産合計	631,228	689,556
無形固定資産	35,580	27,380
投資その他の資産		
差入保証金	353,583	378,843
その他	72,903	76,025
貸倒引当金	△21,519	△21,922
投資その他の資産合計	404,968	432,945
固定資産合計	1,071,776	1,149,882
資産合計	4,563,312	4,443,618
負債の部		
流動負債		
買掛金	215,003	505,579
短期借入金	2,100,000	1,800,000
1年内返済予定の長期借入金	-	60,000
賞与引当金	19,385	13,060
株主優待引当金	63,613	78,489
資産除去債務	153,589	-
その他	498,625	393,634
流動負債合計	3,050,217	2,850,764
固定負債		
資産除去債務	108,726	113,042
長期借入金	-	235,000
その他	404,253	394,268
固定負債合計	512,979	742,310
負債合計	3,563,196	3,593,075
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,510,530	1,510,530
資本剰余金	1,619,390	1,619,390
利益剰余金	△1,679,828	△1,829,349
自己株式	△453,378	△453,378
株主資本合計	996,712	847,192
評価・換算差額等		

その他有価証券評価差額金	3,402	3,350
評価・換算差額等合計	3,402	3,350
純資産合計	1,000,115	850,543
負債純資産合計	4,563,312	4,443,618

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	3,270,202	1,995,801
売上原価	1,292,729	842,866
売上総利益	1,977,472	1,152,934
販売費及び一般管理費	2,762,432	2,039,259
営業損失(△)	△784,959	△886,325
営業外収益		
受取利息	598	506
受取配当金	509	524
受取家賃	7,643	6,004
解約返戻金	8,714	1,473
受取奨励金	4,325	-
雇用調整助成金	84,909	169,208
新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金	-	611,136
その他	13,615	8,754
営業外収益合計	120,314	797,609
営業外費用		
支払利息	7,839	10,370
その他	1,549	4,195
営業外費用合計	9,388	14,565
経常損失(△)	△674,033	△103,282
特別利益		
固定資産売却益	7,302	1,356
受取補償金	32,763	-
特別利益合計	40,065	1,356
特別損失		
固定資産除却損	9,263	0
固定資産売却損	7,468	0
減損損失	128,271	-
賃貸借契約解約損	4,050	352
特別退職金	15,174	-
特別損失合計	164,227	352
税引前四半期純損失(△)	△798,195	△102,277
法人税等	22,626	20,591
四半期純損失(△)	△820,822	△122,869

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

- ・「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下、「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、フランチャイズ契約における加盟料収入及び更新料について、従来は、契約開始月一時点において収益を認識する方法によっておりましたが、契約期間にわたり収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たに会計方針を遡及適用していません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は4,119千円増加、営業損失は4,119千円減少し、経常損失及び税引前四半期純損失はそれぞれ4,119千円減少しております。

また、利益剰余金の当期首残高は26,651千円減少しております。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載していません。

- ・政府、自治体からの各種要請等により、臨時休業を行った店舗の休業期間中に発生した固定費(人件費、地代家賃、減価償却費)については、従来「新型コロナウイルス感染症による損失」として特別損失に計上しておりましたが、第1四半期会計期間より、販売費及び一般管理費に計上しております。

また、当該変更を受け、従来特別利益に計上していた「新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金」および「雇用調整助成金」については、第1四半期会計期間より、営業外収益に計上しております。

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化していることを受け、当社の店舗については、休業からテイクアウトのみの部分的な営業を行う店舗が増加しております。これらの部分的な営業店舗に係る固定費は「新型コロナウイルス感染症による損失」に含めておらず、この結果、新型コロナウイルス感染症による損失の実態と会計処理との乖離が大きくなってきたことから、四半期財務諸表をより適切に表示するために当該会計方針の変更を行うものであります。

なお、当該会計方針の変更は遡及適用され、前年四半期及び前事業年度については遡及適用後の四半期財務諸表及び財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第3四半期累計期間の営業損失は136,719千円、経常損失は61,152千円それぞれ増加しておりますが、税引前四半期純損失に与える影響はありません。また、前事業年度の期首の純資産に反映されるべき累積的影響はないため、前事業年度の利益剰余金の期首残高に与える影響はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の経済への影響が継続しており、当社の業績にも大きな影響を及ぼしています。

当社では、固定資産の減損会計の会計上の見積りについて、財務諸表作成時において入手可能な情報に基づき実施しております。

新型コロナウイルス感染症の拡大が当社の業績に与える影響に関する仮定については、前事業年度の有価証券報告書に記載した会計上の見積りにおける仮定を、2023年3月期以降徐々に回復するものと仮定を変更しております。

当該仮定の変更に伴う業績への影響はありません。

(重要な後発事象)

(資金の借入)

当社は、2022年2月14日開催の取締役会において、東銀リース株式会社から2億円の資本性劣後ローンによる資金の借入を行うことを決議いたしました。

- (1) 借入先 東銀リース株式会社
- (2) 借入金額 2億円
- (3) 借入形式 資本性劣後ローン
- (4) 借入利率 変動金利
- (5) 借入実行日 2022年2月28日(予定)
- (6) 借入期間 7年間
- (7) 担保等の有無 無担保・無保証

3. 補足情報

[参考] 業態別出退店の状況

		前事業年度					当第3四半期				
		自 2020年4月1日					自 2021年4月1日				
		至 2021年3月31日					至 2021年12月31日				
		期首 店舗数	出店数	退店数	期末店舗数 増減数		期首 店舗数	出店数	退店数	期末店舗数 増減数	
直 営 店	酔 虎 伝	16	-	11	5	△11	5	-	-	5	-
	八 剣 伝	68	1	20	49	△19	49	1	1	49	-
	居 心 伝	22	-	16	6	△16	6	-	1	5	△1
	串 ま ん	1	-	-	1	-	1	-	-	1	-
	八 右 衛 門	4	-	-	4	-	4	-	-	4	-
	焼そばセンター	10	-	3	7	△3	7	-	1	6	△1
	マ ル ケ ン	8	18	1	25	17	25	4	-	29	4
	そ の 他	9	-	5	4	△5	4	2	-	6	2
	小 計	138	19	56	101	△37	101	7	3	105	4
F C 加 盟 店	酔 虎 伝	15	-	5	10	△5	10	-	-	10	-
	八 剣 伝	245	4	21	228	△17	228	2	12	218	△10
	居 心 伝	10	1	4	7	△3	7	1	2	6	△1
	そ の 他	16	2	2	16	-	16	-	2	14	△2
	小 計	286	7	32	261	△25	261	3	16	248	△13
	合 計	424	26	88	362	△62	362	10	19	353	△9